

宇都宮大学

女性研究者キャリア支援室

Career development office for women researchers

# News Letter

Vol15  
2015. 8

Fe-Le  
Café  
学生 ver.

## ホット交流セミナー

「食の追究から学ぶ～極めるということ～」を開催しました

平成 27 年

1/27 (火)

世代や分野に関わらず、広く交流し、風通しがよく、心地よい職場環境を実現するために開催している『Fe-Le Café』も、今回で7回目となりました。12月までの参加者は、峰キャンパスで延べ53人、陽東キャンパスで延べ38人になり、楽しく交流するとともに、リフレッシュ＆リラックスできる時間を共有してきました。7回目の今回は、ラーニング commons にて学生を対象に開催。学生がキャリアを考え、行動に移すきっかけとなるように、講師から働くことの意味や、好きなことを追究して仕事にすることの楽しさ・難しさなどを学びました。講師の浅場直哉さんは、フードディレクターで LONDBELL (ロンドベル) 代表。関東を中心に、地域の食材を活かしたスイーツの開発やマーケティング、レストランの空間プロデュースなどをされています。

### ❖ 大学はアイデンティティ確立の場 ❖

以前は、ファッション業界で商品の企画・PR、店舗運営まで幅広く経験していた浅場さん。探究心をもち続けチャレンジした結果、学生アルバイトからファッションショーの運営を手掛けるまでになりました。大学生活のさまざまな出会いや経験により自分自身の適性や目標が明確になり、大学を3年で中退してファッション業界に飛び込みました。「多様な生き方や価値観と出会える大学時代はアイデンティティを確立できる重要な時期」と語

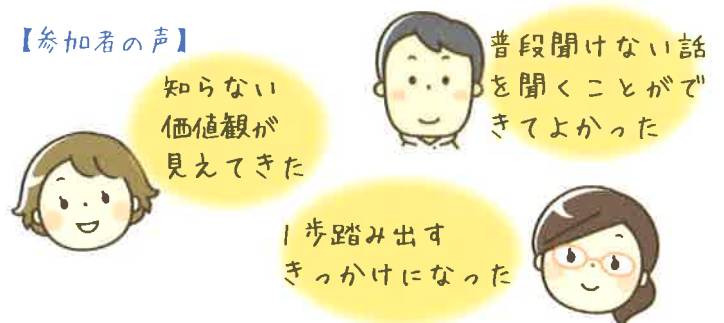
る浅場さん。大学時代は研究やサークル活動など、さまざまな接点が自分と向き合うきっかけになったと、大学生活の重要性を伝えていました。

### ❖ 探究心は新たな可能性を導く ❖

今回の参加者は教育学部の学生7名。熱心にメモを取りながら、活躍中の起業家の生の声に聞き入りました。「職歴が多いと再就職に不利という見方もあるが、多様な考え方を身に付けた人は企業にとっても魅力的な人材。自分自身が「何をやりたいのか」しっかりイメージができてることが大切」と、学生が多くの選択肢を持って将来を考えることのできる前向きなメッセージを送ってくださいました。

大きなシンポジウムで講師が壇上から話すものとは違い、全体で会話を楽しむような、リラックスした雰囲気の中で開催されたこのセミナー。探究心を持続させることで視野が広がり、新たな可能性を導くのだということが、強く印象づけられました。

### 【参加者の声】

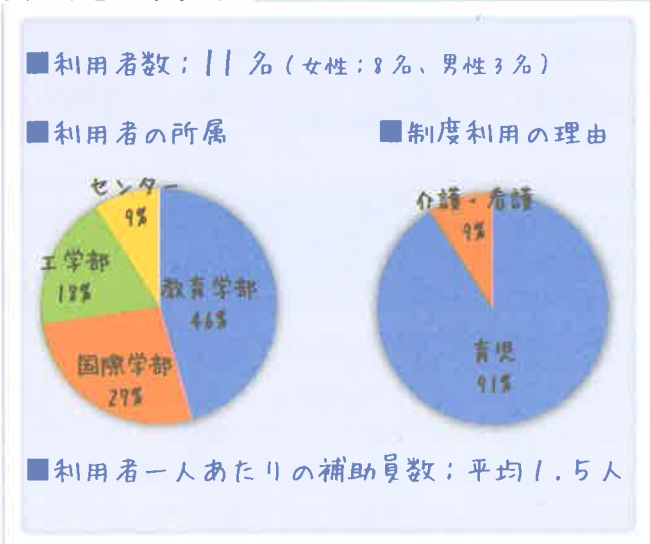


妊娠・子育て・介護などのライフイベントは、研究活動に大きく影響し、研究時間を確保することが困難だったり、研究を中断せざるを得ない状況に直面することもあります。

平成 26 年 2 月に実施した「ワーク・ライフ・バランスと男女共同参画に関する意識調査」(宇都宮大学全教職員対象)でも、「女性研究者のサポートに必要な対策」として育児・介護に関わる対策を求める声が上位を占めました。

そこで本支援室は、女性研究者ならびに研究時間の限られた研究者を対象にした「女性研究者研究補助員配置制度」を設けることとし、1 月から運用を開始しました。

### 【利用者の状況】



### 制度を利用する

## 研究者と研究補助員にインタビュー！



教育学部 国語教育講座

鈴木啓子先生



教育学部 国語教育講座に所属する鈴木先生は、日本近代文学がご専門。泉鏡花を中心に、明治・大正・昭和戦前期の文学を研究されています。平成 14 年と 19 年には最優秀ベストティーチャー賞に選出されました。

### ✿ 雑誌からその時代の文化や文学状況を知る ✿

研究補助員制度を利用して取り組んでいるのは、雑誌『少女の友』の調査研究です。『少女の友』は、明治 41 年に実業之友社から刊行された少女向けの教養雑誌で、昭和 30 年まで、481 冊が刊行されました。鈴木先生が調査しているのは明治・大正前期。川端龍子の描く表紙や挿絵が美しく、キャロルの『不思議の国のアリス』の翻訳が最初に連載されたのもこの雑誌で、同時代の文化・文学状況を色濃く反映しています。また、学校訪問や受験問題の記事も充実しており、当時の女子教育を知る格好の資料とな



っています。読者投稿欄には、住所入りで全国の女生徒の名前が載されており、県名や姓を見ると、「ひょっとしてあの卒業生の曾お祖母様かな～」と楽しい想像もふくらむそうです。

男性の教職員を対象に開催している OLÉ'S KITCHEN。第 3 回目は、「そば打ち」を体験しました。

### ✿ さまざまなアレンジを楽しめる ✿

そば打ちは、粉をませたり、台の上でのばしたり、専用の包丁で切ったりとさまざまな工程を楽しむことができます。そば粉の銘柄やつゆの味で変化を加えることもでき、その奥深さに魅了され、趣味にする人が増えているようです。また、そばは他の穀物と同様にデンプンが主成分ですが、タンパク質や各種ビタミン、ミネラルな

どを豊富に含んでおり、美容と健康に優れた食べ物だと言われているのです。

### ✿ 絆を深めるツールとして ✿

講師は、若松原 1 丁目自治会長の小池恵一郎さん。そば打ち歴は 15 年で、社会貢献の一環として、地域の小中学生を対象に講習会を開催したり、そば打ちの技術を継承するため、指導者の育成にあたっています。



ご覧になりましたか？

WLB 推進パンフレット

## 「プライベートも仕事も研究も 充実した職場環境づくりへ」



「ワーク・ライフ・バランスの必要性をお伝えしたい」という思いをこの1冊にまとめました！仕事、研究、勉強、バイト、趣味、育児、介護…人それぞれに様々な時間の使い方があります。自分の時間大切にしていますか？

ワーク・ライフ・バランスとは、効率的に働き、効率的に休むことにより、『ストレスなく高いモチベーションで、仕事の成果を上げ、プライベートも充実させ、ついでに組織も活性化させよう！！』という、今では当たり前になってきている働き方です。先進的な組織は、生産性の向上や優秀な人材の確保、組織のイメージアップづくりでこの働き方を推奨しており、そこで働く人は、自らのキャリアアップ・育児・介護・趣味などの時間を効率的に確保しています。ワーク・ライフ・バランスを実行するためには、制度を活かす風土と、その組織に関わるすべての方々の理解と協力が必要です。まずは、このパンフレットに目を通して、第1歩を踏み出しませんか。



### ☆理解を深めるために☆

働きやすい環境について話し合いませんか。自分自身の生活に必要な時間を紙に書き出してみませんか。

### ☆協力を得るために☆

1人で考え込まないで、誰かに相談しましょう。女性研究者キャリア支援室が力になります。

### ☆ 広い視野が培われる貴重な経験 ☆

学生にとっても、研究補助業務はさまざまな事を学ぶ貴重な経験になっています。「文学にはその時代が反映されていることがよくわかった」「ノルマをこなす楽しさや、時間管理の重要性を知った」など、ただ仕事としてこなすだけではなく、自分自身の研究や日ごろの生活で役立つスキルが身についているのです。また、4月から社会人になる成島さんは「今後も先生とのつながりを持ちたい」と語ります。鈴木先生というロールモデルの存在が成島さん自身のモチベーションにもなっているようです。

### ☆ 研究も介護もあきらめない ☆

12年前に配偶者を癌で亡くした鈴木先生。お子さんは自立して家庭を持ち、母親業も一段落したため、さらに仕事の幅を広げたいと、平成25年4月から附属幼稚園長を兼任。しかしその夏、同居の実父が迷子になり、要介護の認知症だとわかったのです。「老いた母親だけに介護を任せておけない」と、大学と幼稚園、双方の公務をこなすために、研究業務を犠牲にすることもありました。「蓄積を活かしてアウトプットすることはできても、新しい調査分析を行うにはあまりに時間が足りない」と思っていた時、この制度を知り、2～3月の講義のない時期を活かして新分野の研究に取り組まれています。

「学生も非常に喜んでくれている。着任して22年になるがこんなにありがたい制度はないと感じている」と笑顔を見せてくださいました。



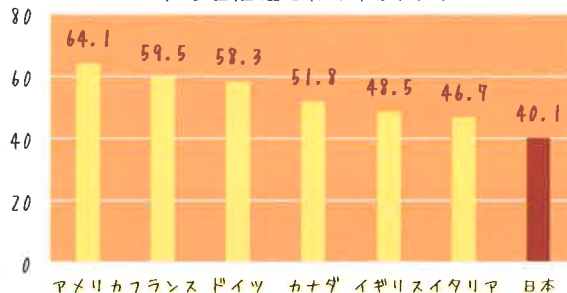
「大切なのは、上手に作ることよりも、食べる人を頭に描きながら心を込めてつくること」と語る小池さん。

参加者のほとんどがそば打ち初体験でしたが、講師の温かい人柄と丁寧な説明を聞きながら楽しくそばを打つことができました。

さらに、日本の伝統的な食文化について改めて認識を深める時間となりました。



主要国の時間当たり  
労働生産性比較 (単位:ドル)



(資料) OECD データベースをもとに女性研究者キャリア支援室作成

労働生産性とは、就業1時間に投入した労働力に対しての価値の1990年代後半から先進7か国で日本は最下位が続いている

国際化が急激に進むなか、英語で論文を作成し、発表する必要が高まっています。仕事と家庭を両立する女性研究者が、限られた時間の中で完成度の高い論文を効率的に執筆できるようになるために、英語論文執筆セミナーを開催します。

講師は、エダズグループジャパン(株)の Jeffrey Robens 氏。ワークショップを交えながら、英語論文を書くポイントや、採択されるための効果的な書き方について講義していただきます。

エダズグループジャパン(株)は福岡を拠点に世界的なネットワークを使い、学術英論文の編集・校正を手掛ける会社です。数多くの大学でセミナーの実績があり、特に、今回講師にお招きする Jeffrey Robens 氏は、毎回ほぼ 100%の満足度を獲得する講師

です。あらかじめ、参加者から取り上げてほしい内容を聞きとり、その希望に沿って講義を進めていただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

■開催日時：  
平成 27 年 3 月 30 日(月)  
13:00~17:00

■会場：峰キャンパス UUプラザ

■対象：女性研究者

■募集人員：30 名

■申込期限：3 月 25 日(水)

※詳細は HP をご確認ください

↑セミナーチラシ



### おすすめ Books

生き方や働き方、育児や介護などさまざまなジャンルの本を  
貸し出し中！蔵書はHPで確認してください



家事労働ハラスメント-生きづらさの根にあるもの-

著者：竹信 三恵子  
(岩波新書)

食事の支度や後片付け、洗濯、掃除、育児に親の介護……。本来、だれが必要とする「暮らしの営み」のはずの労働が、不公正な分配によって、どのように生きづらさや貧困を招き寄せていくのか。終わりなき「見えない労働」を担う人びとが、社会から不当に締め出されている実態に光をあて、直面する困難から抜け出す道を内外にさぐります。



仕事も子育ても自分もうまくいく！「働くママ」の時間術

著者：馬場じむこ  
(日本実業出版社)

仕事も、育児も、自分磨きもしたい。そんなママ達の悩みを解決！時間の使い方、仕事の効率化のコツ、忙しくてもできる自分磨きの方法などを紹介。2児の母であり、会社員として仕事で成果をあげながら、多方面で活躍するスゴママの時間術を紹介します。



女子の人間関係  
整理整頓

著者：水島広子  
(サンクチュアリ・パブリッシング)

なぜ、あの“女”(ひと)はあなたの感情を乱すのか？すぐ感情的になるひと、裏表のあるひと、群れたがるひと、張り合ってくるひと…対人関係のイライラは、医学的に見れば 99%解消できる。グループ、派閥、噂話、嫉妬など女性特有の人間関係の悩みを持つ方に対人関係療法の専門医水島広子氏がその原因を解析&ステップを踏んで丁寧に解決方法を教えます。

女性だけでなく、女性の部下、上司、恋人、妻を持つ男性も役に立つ内容です。

【編集・発行】

宇都宮大学 女性研究者キャリア支援室 (Fe-le)

<http://kyodo-sankaku.utsunomiya-u.ac.jp/>

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 5 号館 3 階

TEL・FAX：028-649-5151

e-mail：gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学 参画

検索



Facebook は  
こちらからどうぞ

HP はこちらからでも  
アクセスできます